



JASDAQ

平成 22 年 12 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 フジトミ
代表者名 代表取締役社長 細 金 英 光
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
問合せ先 取締役業務本部長 新 堀 博
電話 0 3 - 3 2 0 9 - 5 5 0 0

丸梅株式会社（100%子会社）の商品先物取引受託業務廃止に関するお知らせ

当社グループは、当社と丸梅㈱で行っている商品先物取引受託業務を当社に一本化し、効率化を図るため、本日、丸梅㈱の取締役会において商品先物取引受託業務を廃止することを決議し、当社の取締役会において、同社からの顧客移管を受け入れることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 理 由

わが国の商品先物取引市場におきましては、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化などによる市場規模の縮小が続いており、全国商品取引所の出来高は、平成18年3月期の1億780万枚から平成22年3月期には3,425万枚に、4年間で68.2%減と急速に減少しております。

このような市場環境の影響を強く受け、当社グループの業績は、商品先物取引受託業務の受取手数料の大幅な減少により、平成19年3月期以降4期連続で赤字となっております。

この間、当社グループは、支店の統合、希望退職者募集など、人件費を中心に営業費用の削減に努めて参りましたが、急速な収益減少に営業費用の削減が追いついていない状況にあります。

当社グループは、早期の黒字転換を目指し、部署別の採算管理を徹底し、黒字化の見込めない不採算部署や支店、子会社の廃止又は統合を従来以上のスピードで実施していく方針であり、本件は、その一環として、当社と丸梅㈱で行っている商品先物取引受託業務を当社に一本化し、効率化を図るものであります。

2. 概 要

(1) 内 容

平成 23 年 3 月 末 日 を 以 っ て、丸梅㈱は商品先物取引受託業務を廃止する。

建玉移管にご同意いただいた丸梅㈱のお客様の建玉及び預り証拠金は㈱フジトミ（当社）に移管する。

※ これにより、当社グループの商品先物取引受託業務の営業拠点は、当社本社（東京都新宿区）、大阪支店（大阪府中央区）の2箇所となります。

(2) 丸梅㈱の平成22年3月期における経営成績

	丸梅株式会社 (a)	平成22年3月期連結実績 (b)	比率 (a / b)
売 上 高	326 百万円	1,544 百万円	21.1 %
営 業 利 益	△244 百万円	△954 百万円	— %
経 常 利 益	△237 百万円	△884 百万円	— %

(3) 丸梅(株)に属する従業員及び資産等の取扱い

丸梅(株)は(株)フジトミ(当社)を取次先とする取次の形態で商品先物取引受託業務を行っており、丸梅(株)のお客様(委託者)からの預り証拠金等の負債勘定と、その対等額の委託者債権保全のための資産勘定は、現在既に、当社(個別)の貸借対照表に反映されております。

今回、建玉移管にご同意いただいた丸梅(株)のお客様の建玉及び預り証拠金を当社に移管すると共に、同意いただけないお客様の預り証拠金に係る債権債務は清算することになりますが、これによる、当社(個別)及び連結ベースの貸借対照表への影響は、建玉移管にご同意いただけなかったお客様の預り証拠金に係る債権債務の清算による減少分のみとなります。

丸梅(株)は商品先物取引業の専業であり、本件実施により営業部門が無くなります。同社の今後(従業員及び資産等の取扱い等)については、現在、検討中であります。

3. 日 程

取締役会決議 平成22年12月17日

顧客移管日(※) 平成23年 2月25日

丸梅(株)の商品先物取引受託業務廃止日 平成23年 3月31日

※ 建玉移管にご同意いただいた丸梅(株)のお客様の建玉及び預り証拠金の当社への移管日

4. 今後の見通し

本件は、受取手数料の減収要因となることが予想されますが、減収を上回る営業費用の削減効果があるものと考えております。ただし、費用削減効果の大半は来期以降になる見込みであります。本件による来期の連結ベースの営業費用削減効果(当期比)は250~350百万円程度を想定しております。

なお、本件の当期業績に与える影響は、未確定要素が多く予想が困難であります。顧客移管の時期が期末に近い場合、当期の業績への影響は軽微なものと考えております。業績予想の修正が必要な場合は、適宜、開示して参ります。

(参考)

丸梅(株)の業績推移

(単位:百万円)

	営業収益	営業費用	営業利益	経常利益	当期純利益
平成19年3月期	922	762	159	160	102
平成20年3月期	661	792	△130	△127	△153
平成21年3月期	664	719	△55	△51	△133
平成22年3月期	326	570	△244	△237	△215

当期連結業績予想(平成22年10月22日公表分)及び前期実績

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成23年3月期)	2,240百万円	△709百万円	△685百万円	△703百万円
前期実績 (平成22年3月期)	1,544百万円	△954百万円	△884百万円	△836百万円

以 上